

ポクとキ...


二人だけの夏休み。

C92  
Limited edition

R-18  
Adult Only







Aimai  
Aigan  
Agitation  
Presents

2017  
Summer  
Comic Market 92  
Limited edition



# MAEGAKI

こんにちは。ほくなです。  
終わるか謎な作業しています。  
このページが読めているということは  
無事に新刊が出たのでしょうか・・・と言いたいところですが  
会場限定版になりました。あああ・・・。  
(委託や今後のイベント頒布分とは仕様など一部異なります)

さて、このまえがきを付ける予定が本来はなかったのですが  
提督と時雨の関係性がどうも分かりにくい気がしたので  
補足的に書くことにしました。

この本は前回コミケ(C91)で発行した  
『ボクとキミ、二人だけのお正月。』の続きみたいな感じです。

時雨さんは提督とはケッコソカッコカリもしていません。  
ただこれには提督側の事情が絡んでいるので  
していない、けれど時雨とは特別な関係があるという  
なんだかぐちゃぐちゃした設定です。  
不倫みたいだな・・・  
いや、不倫じゃないですよ。笑

ちなみに前回の本では去年夏に出したコピー本を  
再録しているのですが、そちらも水着の話です。  
持っていないかたはそちらもよろしく願います！  
(完全に宣伝です)

伏線回収な感覚でしばらくこの組み合わせで  
描けたら良いなあと思います。

それでは本編をお楽しみください！



今年も白露型の  
みんなや  
提督と一緒に  
海にきて

東の間の休暇を  
和気藹々と  
楽しんでいる

…っ

あ…っ

はっ

あつい…ね

提督…







後ろからだとおまんこの奥  
おもいきり突かれて……っ

気持ち良すぎて……  
思い出す  
どころじゃ……っ

……っ!!

おのの

……っ

……っ

……っ

……っ  
提督っ

なんでぼくたち  
こんな所で  
こんなこと……っ

みんなは  
どうしたの？

早く  
戻らないと……

え？

何言ってるんだよ  
お前が熱中症で  
倒れたから  
ここに来たんだぞ

それに



「体調？」

うん…大分良くなったよ」

「だから少しだけ二人だけでゆっくり休みたいな…」

「最近提督が忙しくてなかなか出来なかったから…」

お前の方から誘ってきたんだけど



ごっ  
ごめんなさい!!

ぼく完全に暑さでやられていたのかも…

ここまでしておいて今更すぎね？

まあいいじゃん？大分ご無沙汰だったし？





：提督とのキス  
久しぶり…

細かいことは  
いいから  
続き続き

ふあ…っ

ふ…

っ…

ん…



：時雨は  
どう思っているか  
わからないけど

普段の生活では  
見せてくれない部分を

二人だけの時には  
見せてくれるところ  
実は俺すげー好きなんだ





意外すぎて  
惚れ直しただろ？

普段そんなこと  
言わないし…  
一体どうしたのさ…

何言い出すのさ  
いきなり…

なっ



：普段はあまり  
思ってること  
話さないように  
してるからな

でも二人だけだと  
なんか気が緩む  
っていうか

…提督？



海でお前が  
倒れた時も  
心配したけど

お前が思ってるより  
俺はお前のこと  
普段から心配してるよ

こんな華奢な身体  
なのにも  
いつも戦わせて

艦隊を指揮してる人間が  
こんなこと言ってる  
矛盾してるかも  
しれないけど






いつも見送ることしか  
出来ないから

「大丈夫」

「必ず帰ってくるから」

無力に感じる

自分自身のこと



前の世界では  
実際に戦っていたけれど  
今の世界では  
艦娘の力が全てだし

提督なんて  
随分偉そうな  
肩書きの割には

何も出来てねーな  
みたい





…本当にそんな風に  
思っているのなら

ぼくは少し  
悲しいよ

だって



だからせめて  
俺じゃないと  
出来なさそうなことは  
してやりたいなって感じ

まあそれさえも  
出来るのか謎  
だけどな



ぼくたち艦娘は  
提督がいるからこそ  
どんなに厳しい戦いでも  
力を発揮することが出来る

ぼくたちだけが  
前線で戦っているように  
見えるかもしれないけれど

提督の存在  
あってこそ  
艦娘なんだ



えー

提督が待っていて  
くれるから

だからそんな風に  
自分を卑下しないでほしい

提督の力を  
ほくはいつでも  
感じていてるから  
信じていてるから

絶対沈んだりしない  
必ず帰りたいって  
思っている





強いよ

：お前って  
不思議なやつだよな

儂げな見た目とは  
全然違って



でもね

提督と艦娘  
としてじゃなく

ぼくは  
全然強くないよ…

だから二人だけの時は  
提督に甘えてしまうし

甘えあえるような  
関係になれる時間が  
あるのは悪いこと  
じゃないと思う

時雨…





…真面目な話していたから  
元気が無くなっちゃったね…

ん…



ぼくだって提督に  
出来ることは  
沢山してあげたいんだよ…？

提督  
覚えていて

提督がぼくのこと大切に  
想ってくれているように





ねえ提督…  
ぼくの気持ちいっぱい  
感じるでしょう…？

提督だから  
こんなあられもない姿  
さらけ出せるんだよ…？

もっとぼくをみて  
ぼくの心もぼくの体も

何もかも全部…  
提督のための  
ぼくでありたいから…っ

ちょ…時雨…  
動きが激し…っ

いや？  
でも提督  
こういうぼくのが  
好きだって言ったじゃない

…っ  
言った…けど

けど何？

ぼく提督のことは全部  
わかるんだよ  
だっかって散々ちなこと  
みんなに隠れて  
二人でしてきたもの

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ

…っ



そういう攻め気味な  
時雨も悪くないけど…

でも俺はやっぱ

っ  
!?

お前が  
攻められて良きそうに  
してるのを  
見ながらするのが  
好きなんだよ！

ひあっ…!!

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ









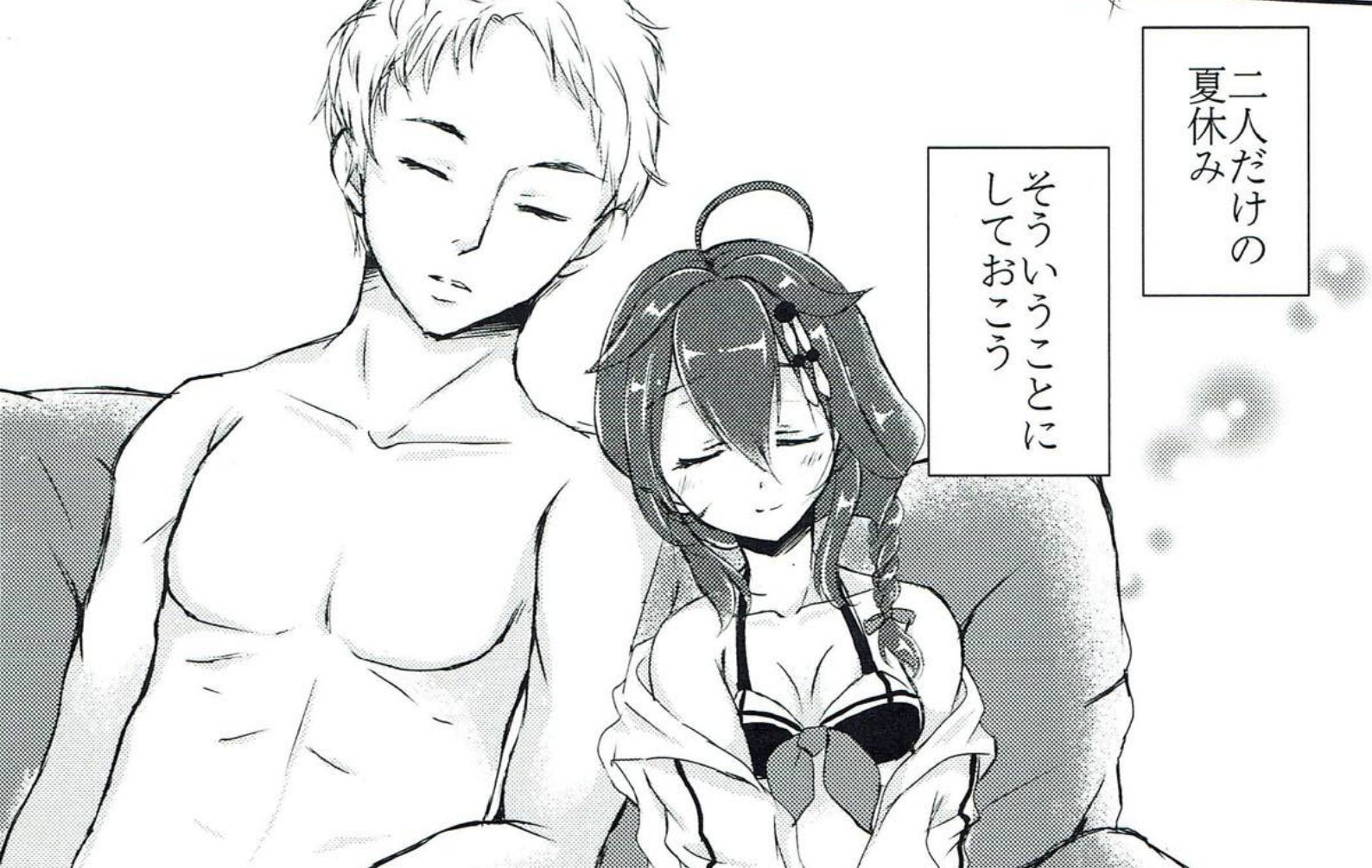
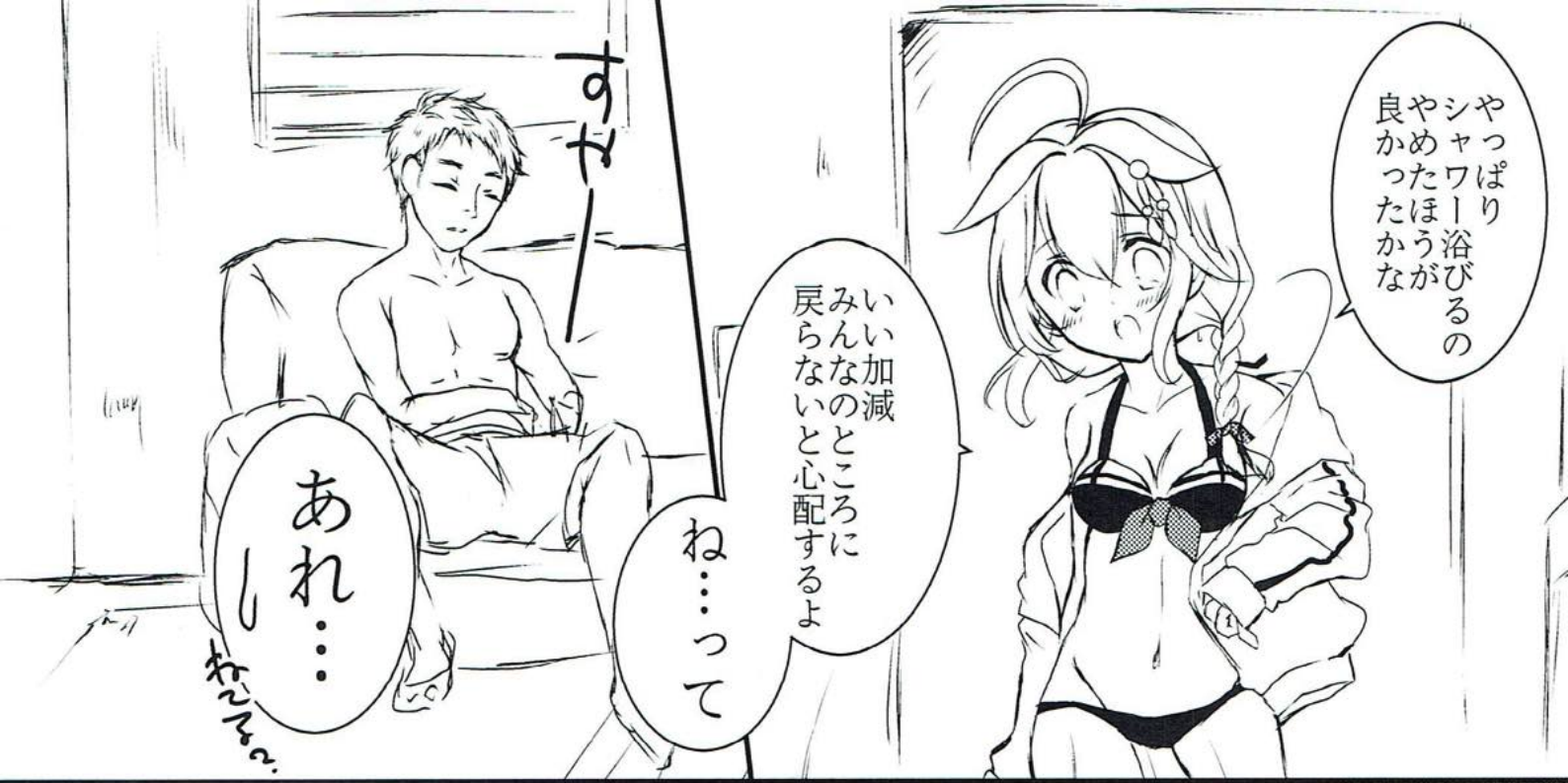


遅くなつて  
ごめんね

提督

びしょ







# ATOYAKI

お読み頂きありがとうございます。  
相変わらずえっちなシーンが端折り気味で  
申し訳ないです…雰囲気を楽しんでもらえたら幸いです。

そしてそしてこのあとがきはイベント前日に書き直しております。  
仕上げがきちんと出来なかったからです。  
限定版ならではの少しラフい感じもお楽しみいただければ幸いです。  
でも決して怠けていたということではなく、日々つぶやいておりますが  
冬からは描くための体力をつけたいと真剣に思うようになり  
夏コミ前ギリギリまでジムに通い続けていました。  
おかげでこうして締め切り前でも  
そこまでボロボロにならず生きています笑

最近、小学校の卒業文集を読み返す機会があり、  
自分のページを読んだのですが  
「お金持ちになりたい  
(年5で海外旅行したい、天然大理石の玄関のマンションに住む)」  
だの、なんだこの反感買いそうな将来の夢・・・  
とめっちゃめっちゃ呆れたのですが、  
もう一つの夢が  
「漫画を描く人になりたい」  
でした。  
お金持ちではない、年5で海外に行く時間と体力もない。  
でも漫画を描く人にはなりました。  
(ちなみに天然大理石玄関も叶いました)

でも描けるのは支えてくださる人達がいるからです。  
私の作ったものが皆さんの日々のささやかな楽しみに  
少しでもなれたら幸いです。

見てくださるかたがたがいてこそこのこの活動、  
そしてこの本も作ることが出来ました。

いつも支えてくださり、ありがとうございます。  
そして暑い中、足を運んでいただき、本当にありがとうございました。



2017. 8. 13

曖昧愛玩アジテーション

北那リン

hokuna/mail@gmail.com

pixiv:631041

Twitter:hokuna\_rin

印刷：

カクチにしたい、その想いを伝える印刷所  
テイズプリント

**Tei's Print**

いつも締め切りギリギリな私の救世主、テイズプリントさん。  
今回もギリギリな中、本当にありがとうございます！

この本の無断転載複製アップロード頒布等禁じます





Aimai  
Aigan  
Agitation  
2017  
Summer